

話題がいっぱい /
なかゆくい

市内各地で行われたイベントや、
まちの話題をお届けします。
ここで“なかゆくい”しませんか。
(なかゆくい=ひと休み)



市ホームページ「うらそえボックス」
にも市内のできごとを紹介しています。



11/11・12 4年ぶりの開催!まなびフェスタ

市民が積み重ねてきたまなびや、まちづくりに関する活動の成果発表を目的とした「市民協働とまなびのフェスタ浦添2023」が、ハーモニーセンターで開催されました。市長あいさつから始まり、オープニングセレモニーで披露されたインドネシア・バリ島の伝統舞踊はワークショップも行われ、参加者からは「ゆったりした踊りが、こんなにハードだと思わなかったけど、楽しかった」と声が上がりました。

他にも、学童クラブや放課後子ども教室、市民活動団体によるプラ積み木、空き缶釣りゲームなどの体験活動、歩き方講座・日本語教室開講準備講演会が行われ、さまざまな「協働」や「まなび」を深める機会になりました。



11/12 琉球コラソンとリーグ首位が激突!

浦添市ハンドボール王国まつり(第48回日本ハンドボールリーグ沖縄大会)がANA ARENA浦添で開催され、琉球コラソンとトヨタ車体ブレイヴキングスが対戦しました。リーグ首位のトヨタ車体を相手に善戦しましたが、残念ながら勝利することはできませんでした。

しかし、選手の迫力あるプレーに観客からは拍手や歓声上がるなど、会場は大いに盛り上がりました。

また、同日に開催された人権スポーツ教室(地域人権啓発活動活性化事業)には、小学生約60人が参加し、琉球コラソンの選手による人権講話とハンドボール実技指導が行われました。



10/31 首里城復興を目指して

首里城復興支援のための寄付金贈呈式が、首里城公園管理センターで行われました。

浦添中学校生徒会の提案による募金や、市内自治会による募金など「てだこのまち首里城応援プロジェクト」活動で、667万7,994円の寄付金が集まり、沖縄美ら島財団が運営する「首里城基金」に贈呈されました。

松本市長は「浦添市美術館で、過去に展示したことのある沖縄県指定有形文化財『黒漆菊花鳥虫繫七宝沈金食籠』の修復が来年度から始まるとのことで、その修復をはじめ、他の琉球漆器等の修復に役立てて頂きたい」と話しました。



11/8 本番に向け、仲間と共に練習に励む

「教育」「文化」「芸術」を通して、子どもたちの自立(自律)と輝きを育成・支援している浦添市子ども文化連盟「太陽樹」が主催する、ミュージカル「尚寧王」が12月16日(土)・17日(日)に開催されます。

本番に向けて、週3回の練習がハーモニーセンターと中央公民館で行われており、今回、初舞台となる與那嶺のあさん(神森小6年)は「浦添ゆいゆいキッズシアターに参加して、いろいろな経験をすることができました。この舞台を通して家族への恩返しと、自分の可能性を伝えたいです。本番では今までの練習の成果を発揮するので、期待して見に来てください。」と練習で汗を流しながら話しました。公演の詳細は、裏表紙をご覧ください。



11/11 児童虐待防止ダイヤル「189」を広めよう!

子どもの虐待防止を呼び掛ける「第2回オレンジリボンたすきリレー沖縄2023」が開催されました。

児童相談所や養護施設、市職員、教職員ら約80人が虐待のない社会の実現を願い、児童相談所虐待対応ダイヤル「189」の活用を広めるため、「子どもに明るい未来を」と記したオレンジ色のたすきを掛け、31kmを走りました。

また、市役所中庭広場では、オレンジリボンマルシェも同時開催され、エイサー演舞や小ヤギとの触れ合いコーナーなどの出店があり、多くの親子連れで賑わいました。



10/26 私たちが「浦添の歴史」を伝えます!

浦添グスクなど、市内の文化財を案内する「うらそえ歴史ガイド」養成講座の修了証書交付式が市役所で開かれました。浦添には、琉球の歴史文化を物語る貴重な文化財が数多く残っており、平成12年度から始まったこの講座は7期目。今回は13人のガイドが誕生しました。

代表あいさつを行った狩俣順子さんは「浦添が好きな気持ちだけでガイドを目指せるのか、不安と心配な思いがあったが、3か月間の研修や試験を通して、皆さんと学びながら楽しく参加できた。ガイドとして浦添を盛り上げていきたい」と話し、銘苅教育長は「合格おめでとうございます。これから皆さんの力で浦添を宣伝してください。そして歴史文化の素晴らしさを皆さんで語ってください」と激励しました。



10/20 マウイにちむぐる(心、思い)を

今年8月にハワイ州マウイ島で大規模な山火事が発生し、ラハイナを中心に甚大な被害が出たことを受け、火災被災者支援のための支援金贈呈式が市長応接室で行われました。本市とハワイ州は、100年以上の交流があり、松本市長から沖縄ハワイ協会の「ちむぐるプロジェクト」へ、200万円の支援金が贈呈されました。

沖縄ハワイ協会会長の大城浩さんは「浦添市からの支援金と県民からの5,000万円近い支援金が集まり、一人一人のちむぐるが届いた。ハワイ州マウイ島、特にラハイナ地区の1日も早い復興を祈っている」と話しました。